

No. 11：現地バイヤー招き商談会～対面で交渉 貴重な機会～（令和6年2月27日）

1月11日、県と日本貿易振興機構栃木貿易情報センター（ジェトロ栃木）が連携して、香港の食品関連バイヤーを本県に招聘し、商談会を開催した。県香港事務所もバイヤー選定や渡航手配などで協力し、商談会にも同席したため、その様子についてレポートしたい。

今回招聘したのは、味珍味（香港）有限公司という香港でも大手の日本食卸事業者だ。同社は40年以上



【県内企業と香港のバイヤーの商談の様子=1月11日、宇都宮市ゆいの杜1丁目のとちぎ産業交流センター】

にわたり日本食材を香港に輸入しており、商品ラインアップは幅広く、販路も日系・現地系のスーパーやレストラン、ホテル等と多岐にわたる。そんな日本食に精通した卸事業者から3人に本県へお越しいただいた。

商談会には県内事業者10社が参加、1社40分という時間の中で熱心な商談が行われた。ここ数年でオンライン商談が急速に普及したが、対面で実際にサンプルを手に取りながらの商談からは、より高い熱量を感じたところだ。

バイヤーには事前に商品について目を通していただいております、香港市場で受け入れられるかどうかについて、率直な意見が出されているのも垣間見ることができた。

商談会に参加した県内事業者は、おのこの輸出への取組状況に応じて、新たな国・地域への輸出につながる商談、新たな品目の商談、新たな販路開拓を前提とした商談をすることができたようである。

また、「直接海外の事業者と商談できる機会は非常に有難い」「現地の事業者と会って話す機会がなかなかないため、ニーズや現状に関して興味深い話をじかに聞くことができ、ありがたかった」といった好意的な意見もいただいております、今後につながる商談会であったと感じている。

商談会終了後は味珍味（香港）有限公司内で販売可能性があるかどうか等の検討が行われており、参加事業者とのやりとりもいくつかあるようである。長時間にわたり熱心に商談していただいたことに感謝するとともに、少しでも多くの成約が出ることを期待したい。

県は、海外への販路開拓・拡大を目指す県内企業等を支援するため、バイヤー招聘だけでなく、セミナー開催、補助事業、見本市出展などさまざまな施策を実施している。海外への販路開拓・拡大を検討される際には、ぜひ一度、お気軽に県国際経済課にお問い合わせいただきたい。

（県香港事務所長 卯木啓之）